

中小企業景気動向調査レポート

(令和4年1月～3月実績、令和4年4月～6月予想)

※調査期間 令和4年3月1日～7日

令和4年4月発行
西尾信用金庫
地域振興部

回答企業数

製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	合計
361	254	64	193	85	55	1,012

<全体の景況>

当期業況判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R3/12	-13.8	-8.8	-10.9	1.2	-15.3	-1.8	-8.6
R4/3	-18.4	-12.6	-12.7	-2.9	-14.0	-1.9	-12.4
R4/6予想	-13.2	-8.4	-11.1	-10.6	-8.2	-1.9	-10.5

当期売上額判断D.I.

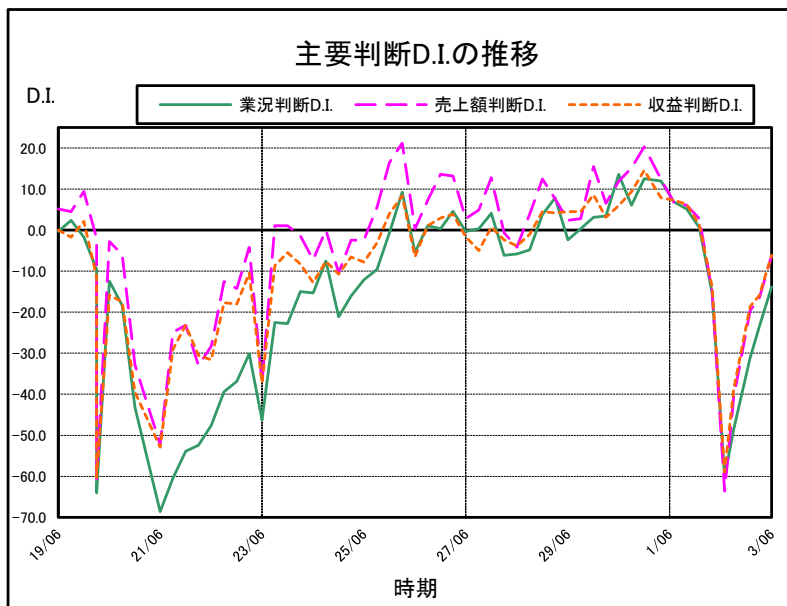
	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R3/12	-2.8	4.0	11.1	1.8	4.7	0.0	1.1
R4/3	-8.6	-6.3	-4.8	0.0	-10.5	-1.9	-5.6
R4/6予想	-8.6	-4.7	-7.9	-8.7	2.3	-3.7	-7.2

当期収益判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R3/12	-5.3	3.6	4.8	-5.9	-3.6	-1.8	-2.0
R4/3	-15.1	-6.7	-12.7	-3.5	-16.3	-3.7	-9.6
R4/6予想	-12.8	-3.1	-12.7	-10.4	-1.2	-1.9	-9.0

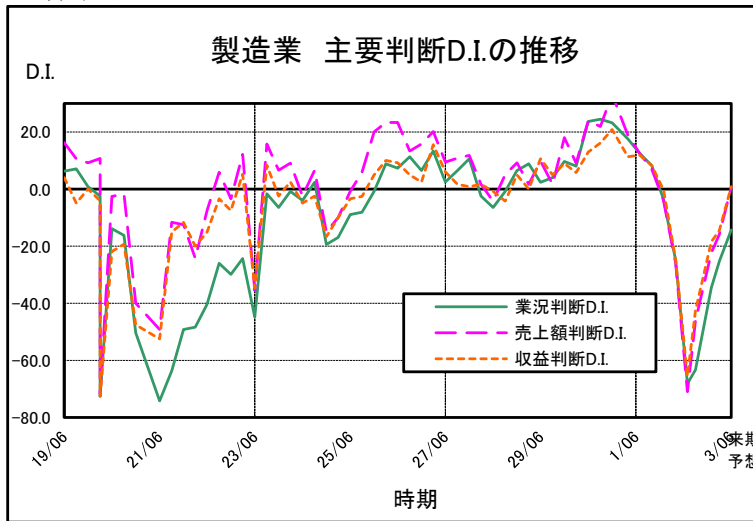
・令和4年3月期の当期業況判断D.I.は▲12.4(前期比-3.8)、当期売上額判断D.I.は▲5.6(同-6.7)、当期収益判断D.I.▲9.6(同-7.6)といずれも前期より悪化した。

・来期については、業況判断D.I.は▲10.5(当期比+1.9)、売上額判断D.I.は▲7.2(同-1.6)、収益判断D.I.は▲9.0(同+0.6)となる見通し。



*判断D.I.は各質問事項で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業構成比を引いて求めている。

< 業種別 >



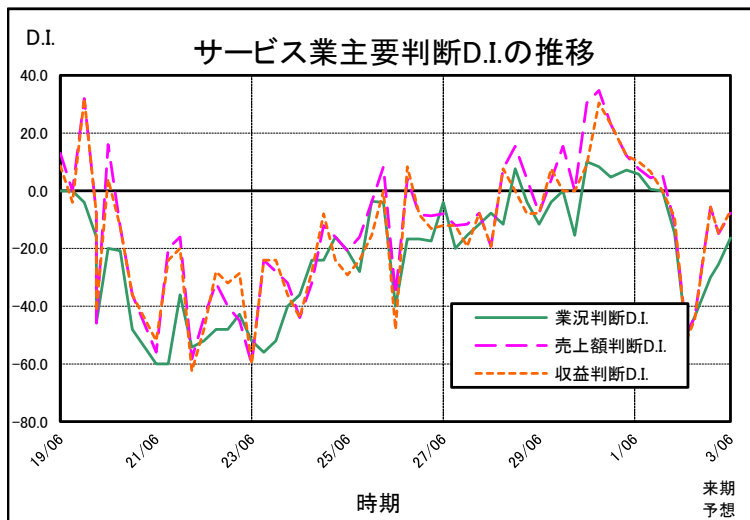
製造業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R3/12	-13.8	-2.8	-5.3
R4/3	-18.4	-8.6	-15.1
R4/6予想	-13.2	-8.6	-12.8

< 製造業 >

・当期業況判断D.I.は▲18.4(前期比-4.6)、当期売上額判断D.I.は▲8.6(同-5.8)、当期収益判断D.I.は▲15.1(同-9.8)といずれも前期より悪化した。

・来期予想は、業況判断D.I. は▲13.2(当期比+5.2)、売上額判断D.I. は▲8.6(同±0)、収益判断D.I. は▲12.8(同+2.3)と、当期より横ばいまたは改善する見通し。

・当面の重点経営施策として“経費を節減する”を挙げる企業が最も多く54.3%、“販路を広げる”を挙げる企業が47.4%、そして“人材を確保する”を挙げる企業が13.9%であった。



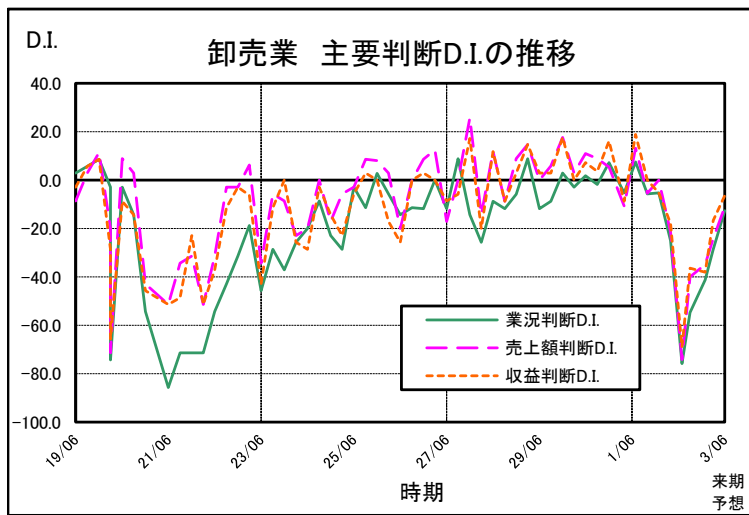
サービス業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R3/12	-8.8	4.0	3.6
R4/3	-12.6	-6.3	-6.7
R4/6予想	-8.4	-4.7	-3.1

< サービス業 >

・当期業況判断D.I.は▲12.6(前期比-3.8)、当期売上額判断D.I.は▲6.3(同-10.3)、当期収益判断D.I.は▲6.7(同-10.3)いずれも前期より悪化した。

・来期予想は、業況判断D.I.は▲8.4(当期比+4.2)、売上額判断D.I.は▲4.7(同+1.6)、収益判断D.I.は▲3.1(同+3.6)といずれも改善する見通し。

・当面の重点経営施策としては“経費を節減する”を挙げる企業が最も多く40.2%、次いで“販路を広げる”を挙げる企業が37.0%、そして“宣伝・広告を強化する”が16.1%であった。



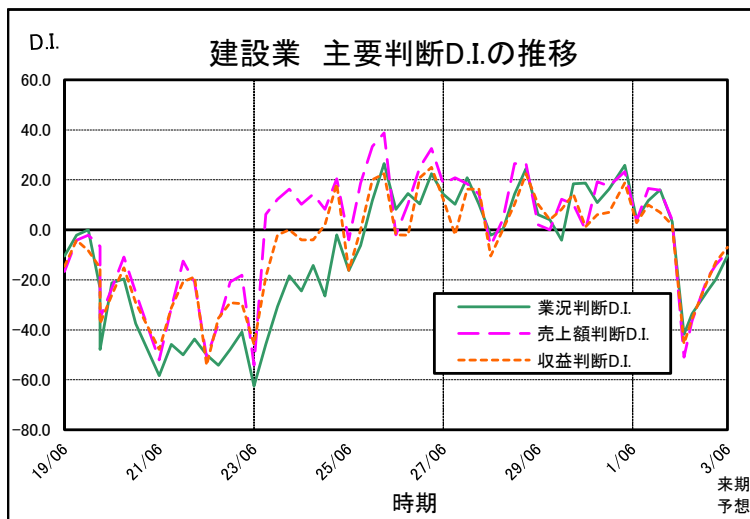
卸売業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R3/12	-10.9	11.1	4.8
R4/3	-12.7	-4.8	-12.7
R4/6予想	-11.1	-7.9	-12.7

<卸売業>

・当期業況判断D.I.は▲12.7(前期比-1.8)、当期売上額判断D.I.は▲4.8(同-15.9)、当期収益判断D.I.は▲12.7(同-17.5)といずれも悪化した。

・来期予想は、業況判断D.I.は▲11.1(当期比+1.6)、売上額判断D.I.は▲7.9(同-3.1)、収益判断D.I.は▲12.7(同±0)となった。

・当面の重点経営施策としては“販路を拓げる”を挙げる企業が最も多く54.7%、次いで“経費を節減する”を挙げる企業が32.8%、そして“人材を確保する”が14.1%であった。



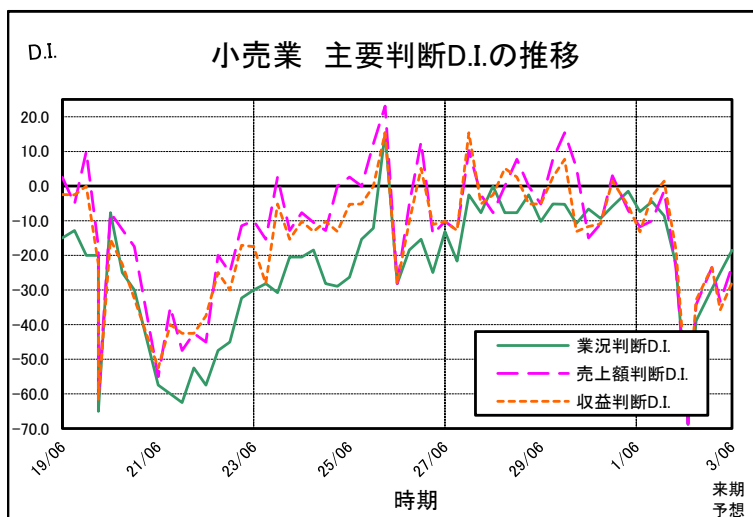
建設業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R3/12	1.2	1.8	-5.9
R4/3	-2.9	0.0	-3.5
R4/6予想	-10.6	-8.7	-10.4

<建設業>

・当期業況判断D.I.は▲2.9(前期比-4.1)、当期売上額判断D.I.は0(同-1.8)、当期収益判断D.I.は▲3.5(同+2.4)となった。

・来期予想は、業況判断D.I.は▲10.6(当期比-7.7)、売上額判断D.I.は▲8.7(同-8.7)、収益判断D.I.は▲10.4(同-6.9)いずれも悪化する見通し。

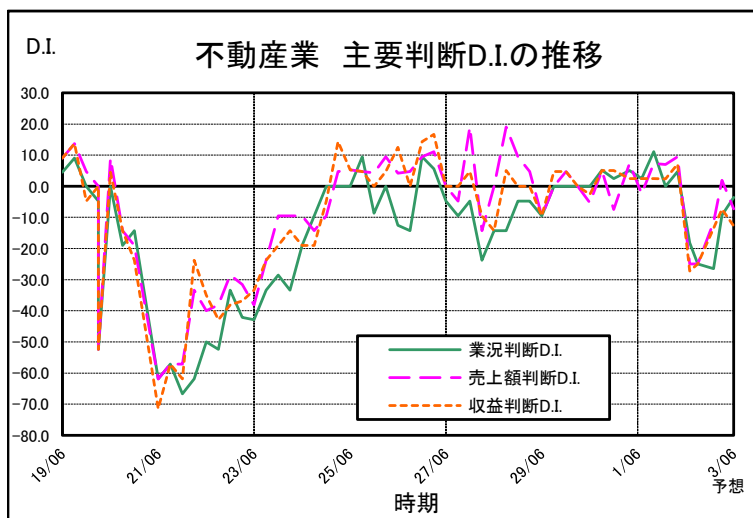
・当面の重点経営施策として“販路を拓げる”を挙げる企業が最も多く40.9%、次いで、“経費を節減する”を挙げる企業が36.3%、そして“人材を確保する”を挙げる企業が21.2%であった。



小売業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
R3/12	-15.3	4.7	-3.6
R4/3	-14.0	-10.5	-16.3
R4/6予想	-8.2	2.3	-1.2

<小売業>

- ・当期業況判断D.I.は▲14.0(前期比+1.3)、当期売上額判断D.I.は▲10.5(同-15.2)、当期収益判断D.I.は▲16.3(同-12.7)となった。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は▲8.2(当期比+5.8)、売上額判断D.I.は2.3(同+12.8)、収益判断D.I.は▲1.2(同+15.1)といずれも改善する見通し。
- ・当面の重点経営施策としては“経費を節減する”を挙げる企業が最も多く55.8%、次いで“品揃えを改善する”を挙げる企業が27.9%、そして“宣伝・広告を強化する”が18.6%であった。

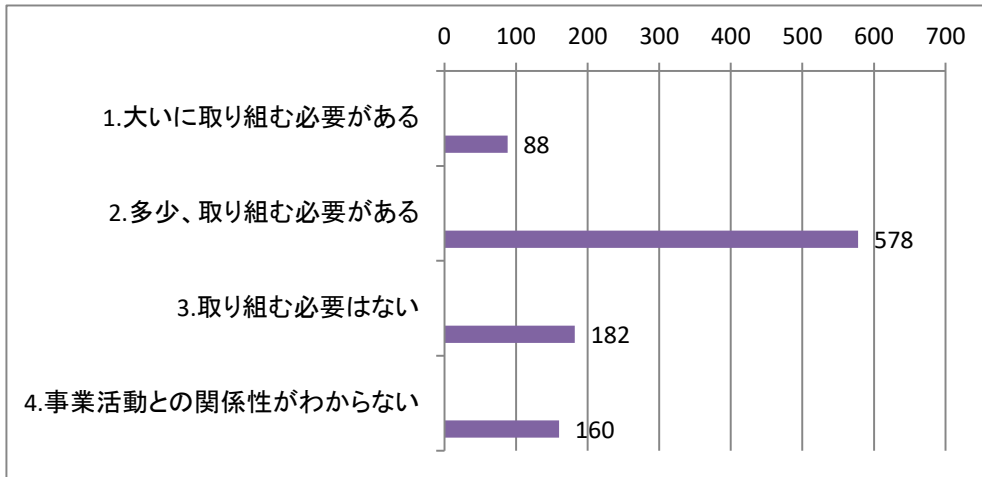


不動産業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
R3/12	-1.8	0.0	-1.8
R4/3	-1.9	-1.9	-3.7
R4/6予想	-1.9	-3.7	-1.9

<不動産業>

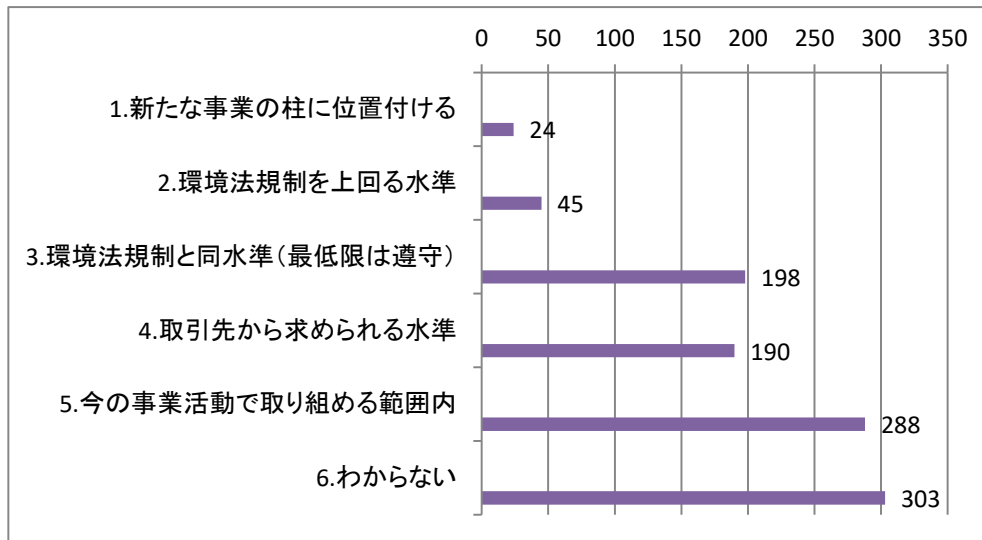
- ・当期業況判断D.I.は▲1.9(前期比-0.1)、当期売上額判断D.I.は▲1.9(同-1.9)、当期収益判断D.I.は▲3.7(同-1.9)といずれも悪化した。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は▲1.9(当期比±0)、売上額判断D.I.は▲3.7(同-1.8)、収益判断D.I.は▲1.9(同+1.8)となった。
- ・当面の重点経営施策としては“経費を節減する”および“情報力を強化する”を挙げる企業が最も多く27.3%、次いで“販路を広げる”が21.8%であった。

問1. 貴社の事業活動において、カーボンニュートラルに取り組む必要性がありますか



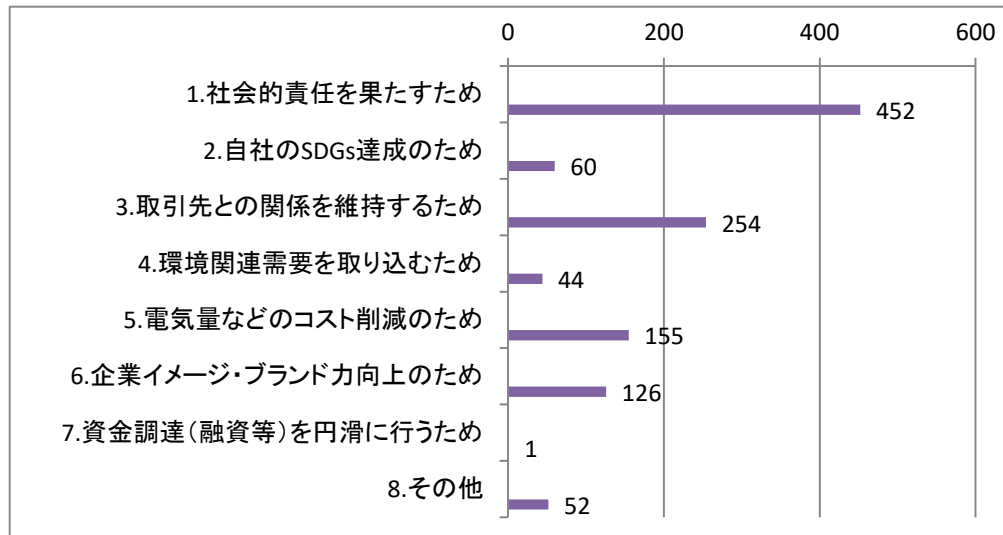
☛「多少、取り組む必要がある」が最も多く、「取り組む必要はない」、「事業活動との関係性がわからない」と続いた。

問2. カーボンニュートラルにどの程度、取り組む必要があると思いますか（複数回答可）



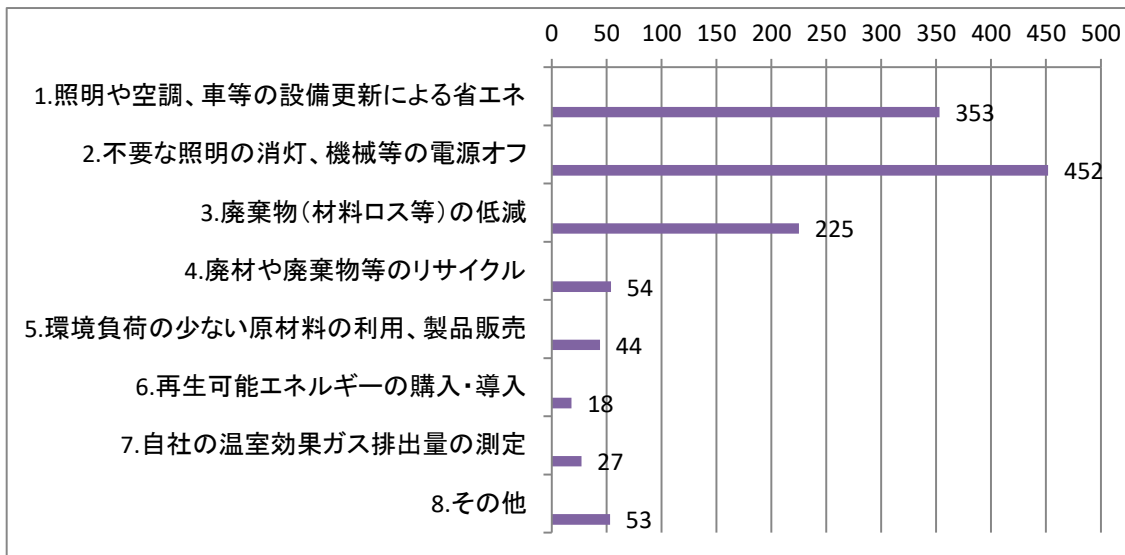
☛「わからない」が最も多く、「今の事業活動で取り組める範囲内」、「環境法規制と同水準」と続いた。

問3. カーボンニュートラルに取り組む理由（今後の予定含む）は何ですか（複数回答可）



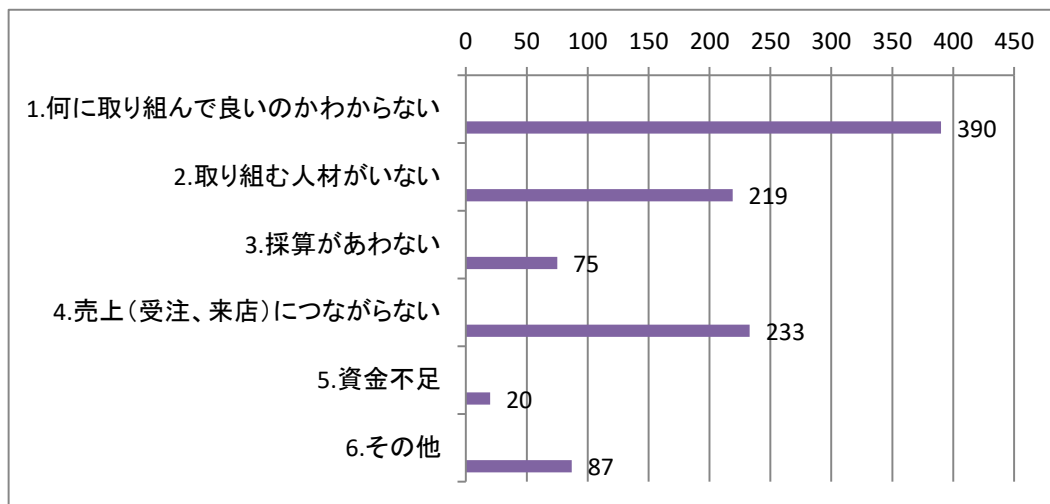
☛「社会的責任を果たすため」が最も多く、「取引先との関係を維持するため」、「電気量などのコスト削減のため」と続いた。

問4. 既に取り組んでいること、今後取り組んでみたい事は何ですか（複数回答可）



☛「不要な照明の消灯、機械等の電源オフ」が最も多く、「照明や空調、車等の設備更新による省エネ」、「廃棄物(材料ロス等)の低減」と続いた。

問5. カーボンニュートラルに取り組む上での障壁は何ですか（複数回答可）



☛「何に取り組んで良いのかわからない」が最も多く、「売上(受注、来店)につながらない」、「取り組む人材がいない」と続いた。